

基幹教育センターニュース

No. 6 2018年2月

“イリュミネーションと電源”



基幹教育センター長 巨海玄道

平成29年度最後のニュースレターをお届けしたい。今年度の初に本センターが2年目を迎えたもののいまだに安定域に達していないと書いたが1年たってみて残念ながら同じ印象を持つ。センター発足直後の教授会のセンターの役割を「久留米工大100号館は夜になるときれいなイリュミネーションでライトアップされ、道行く人々の目を楽しませてくれる。しかしその電力は玄関の横にある人目につかない小さな電源室から補給されているのである。つまり電源室がなければあのイリュミネーションは無い。基幹教育センターはこの電源の役目をするのである」と説明した。つまり人目には着かないが最も基礎となる役目をすると言う意味であった。この説明の本質はいまも変わらない。本学に入学してくる学生のレベルは言ってみれば典型的なFランクであり、基礎学力に大きな不安を抱えている。このような学生にどのように教育をして4年間で他大学並みの付加価値を付けるのかは重要な問題であり、本学に課された最大の難問でもある。ところが本学ではこのことを意識して日々の教育を実践している教員は意外と少ない。実はこのような学生の教育は入学後初めの半年が最も重要であると言われている。12年間の初等中等教育の課程で落ちこぼれや底辺層を徘徊し、勉学の習慣がないまま、また自尊感情に乏しい学生は放置しておくとそのままの状態であつという間に何も考えないまま4年間（あるいはそれ以上か、退学か）を過ごしてしまう。焼け石に水というわけではないがそのような状態を抜け出させるチャンスは入学直後が最も適していると言うわけである。ではそのようなことですべての基礎学力がない学生を救えるか・・・答えはない。多様化した学力を背景に持つ学生は一人一人が異なっており、やってみないとわからないと言う意味である。そういうわけで暗中模索の中で今年度もくれようとしている。答えがない問題・・・大学入試の新テストは受験生より早くまず初めに私たちに課せられているような気がする。

～後期活動報告（1）～

第2回留学生懇談会を開催しました



1/17 ラーニングコモンズにて留学生懇談会を行いました。多数の学生・先生方にご参加いただき、本学での学修や日本での生活について活発に意見を交換しました。



～後期活動報告（2）～



基幹教育センター助教 酒見 龍裕

基幹教育センターの【学生】【教員】別 利用状況/活用例

今年度12月までのセンター利用状況は、前年同月比で増加傾向にあります。(図1) 学科別に見ると、交通の学生が半分以上を占め、他学科の学生には、多くの交通の学生が勉強に励んでいます。(図2) 他学科の学生にも利用して頂きたいため、今年度の活用例を【学生】【教員】別に記載しますので、参考にして基幹教育センターを活用してください。

【学生】の活用例

基幹教育センターでは、勉強に関する様々な質問を受け付けています。今年度は、数学や物理に関する質問が多かったものの、SPIや教員採用試験、電磁気学、統計学、その他、色々な課題/レポートに関する質問も多々ありました。また、一から復習したいなどの学生も来ており、形式問わず勉強の場として活用されています。一度も来たことがない学生は、どんな質問でも構いません、是非一度のぞいてみてください。(予約は不要です。)

【教員】の活用例

今年度は、多くの先生方にも活用して頂きました。活用方法は主に、授業内容を予習/復習させたい学生や小テスト不合格の学生を、授業担当者がセンターに行くよう指示し、待機しているセンターの教員が個別指導を行いました。また、来訪記録を残しているため、来訪学生には平常点を加算などの対応をしている先生方もいらっしゃいます。利用された事がない先生方は、是非一度、学生に声をかけ、センターで個別指導を受けに行くよう伝えてください。(手続きは不要です。)

図1：【月別】基幹教育センター利用回数(4月～12月)

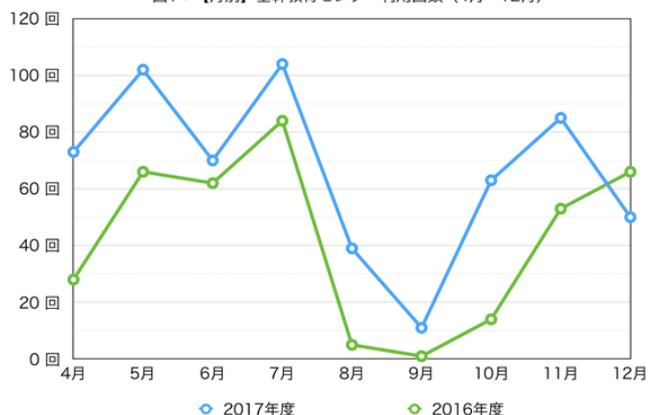
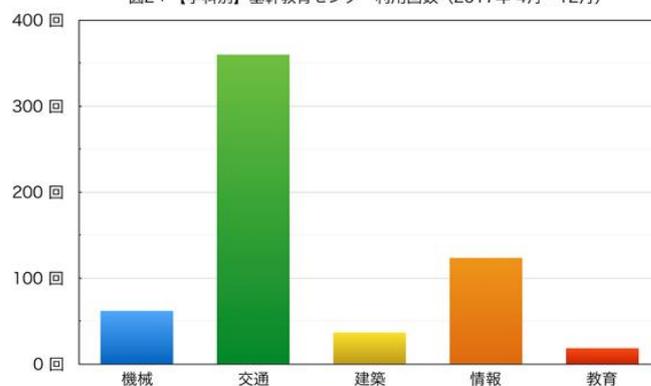


図2：【学科別】基幹教育センター利用回数(2017年4月～12月)



STUDENT'S ASSISTANT より

いろいろな教授の授業を見て、さまざまな生徒の補助をすることで、自分の観察力を鍛えることができました。週に1回ではありましたが、とてもためになったし、充実した時間でした。(教育・3年 増田悠大)

学力に合わせたクラス編成になっているので、教える際のポイントに気を付けて指導補助を行いました。その学生に合った指導を行うことは、自分にとってもいい勉強になりました。(教育・3年 坂井 政輝)

来年度も、SAは補助の
たちで後輩の授業指導に
かかわっていきます！

